

令和3年度第15回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和4年3月3日(木) 午後1時30分～午後3時15分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者
- | | | | |
|-------|---------|---------------|---------|
| 教育長 | 中 峰 寿 彰 | 生涯学習部長 | 三 上 正 洋 |
| 職務代理者 | 馬 場 千 晶 | 学校教育課長 | 須 藤 友 章 |
| 委員 | 加 藤 洋 之 | 合宿の里・スポーツ推進課長 | |
| 委員 | 山 田 敦 久 | | 坂 本 英 樹 |
| 委員 | 多 田 千 鶴 | 社会教育課長 | 武 山 鉄 也 |
| | | 学校教育アドバイザー | 石 橋 克 敏 |

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長あいさつ

本日は会議終了後に、ダイハツ工業との包括連携協定の締結調印式を予定している。これまで、販売店段階で自治体と協定を締結することはあったが、今回はダイハツ本社との協定であり、他に例がない。陸上部の合宿や学校での陸上教室・ものづくり体験教室などのほか、幅広い分野で連携していくものである。

前回の会議でお伝えできなかった新型コロナウイルス感染状況については、2月7日に公表した後に4校で5人が感染しており、2月28日付けで公表したところである。公表の方法については、個人が特定されてしまう恐れがあることから、学級閉鎖する場合などを除いて学校名を公表していない。

2月25日の南中学校で開催での「子ども夢トーク」は、急遽オンラインで実施した。学級代表によるトークだったが、1コマでは時間が足りなかった。牧野前市長時代からの一連のやり方では、今回で一区切りとなるため、新年度から内容を組み替えていく考えである。

3月1日には東高校の卒業式が開催された。本来であれば皆さんにも列席いただくところだが、市長とPTA会長と私が来賓として参加した。今年の卒業生には東高入学の直前から関わってきたこともあり、感慨深いものがあった。

教職員の人事については、明日、校長に内示する予定である。

本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

「議案第36号 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を活用した士別市における体力等の分析結果」について、説明を求める。

○石橋アドバイザー

(別紙資料に基づき説明)

昨年はコロナ禍によって実施されなかったが、本年度の結果については別紙のとおり総括した。本年度から「です・ます体」に変更している。校長会にも内容の確認を依頼しているが、委員にもご確認い

ただき、後日、市のホームページ等で公表する予定である。

○山田委員

結果は良好といえるのではないか。ウエイトリフティングやスキーの大会などで上位入賞を果たした場合は庁舎に懸垂幕を設置するなどして広く周知してきていたが、新庁舎になってから掲出されていないようであり、今後も活躍を讃える取組を。

○中峰教育長

スポーツをするきっかけがいつ、どのように与えられるかも重要である。また、本市の「スポーツ推進計画」でも「する・みる・ささえる」というスローガンで多様なスポーツライフを通じスポーツ参画人口の拡大をめざしている。

また、スポーツに限らず、吹奏楽や絵画、書道など文化面でも、子どもたちは色々な賞をいただいている。学校と連携しながら周知したい。

○多田委員

一般社団法人「スポーツを止めるな」では、女子学生がスポーツをする際の生理の問題に対しトップアスリートの経験や医学的な見地をもって向き合う「1252プロジェクト」が開始された。これまで生理の問題は隠されることが多かったが、逆に明らかにすることは斬新だと感じた。元競泳日本代表の伊藤華英さんが中心となっており、中高生にリモートで講演など行っている。

○加藤委員

教員の理解も進んでいない。体調が悪いと実力を発揮することができない。学校でも集中できないことがあると思う。

○中峰教育長

以前は根性論のようなものが信じられ、無理に生理をずらすなどした結果、体を壊してしまった例もあったようだ。現在は認識が改まり、生理との適切な向き合い方についてはコーチングでは常識となっている。学校では男子生徒も含め理解すべきと思う。伊藤華英さんには、オリンピックデーランのアンバサダーとして来ていただいたことがある。講演会を開催する話もあったが、ご懐妊され実現しなかった。女性特有の身体の変化をきっかけに競技をやめてしまうこともある。最近では対応が改善されており、適切に対応していけばパフォーマンスを下げずに競技を続けていけると思う。

体力調査の項目のうち、弱い部分をどうやって底上げしていくか考えなければならない。シャトルランについては、やり方のコツや体の動かし方がわからずに、結果が良くない場合もあるといわれている。いずれにせよ、本格的に将来につながる体力を身につけることが大切である。

○中峰教育長

「議案第37号 今後における各種計画の改訂」について、説明を求める。

○須藤課長

まちづくり総合計画について、次年度から4年間は実行計画期間であり、さらに次の4年間は展望計画期間としている。計画期間は市長の任期に合わせて設定しており、実行計画期間の終了時に展望計画を見直すこととなる。学校教育関連で新規の事業としては、高校魅力化支援事業と教育格差解消事業であるが、教育格差解消事業は、経常経費として措置していた就学援助事業の名称を変更し、総合計画に反映させたものである。また、朝日中学校改修事業については、実行計画期間内に実施する想定として計画している。

○武山課長

先ほど説明があったが、展望計画の欄に印が入っていないものは、事業をやめてしまうという意味ではなく、見直しを行う際に検討するという意味である。文化活動補助事業やPTA 連合会補助事業などについて、そのようにご理解いただきたい。

○中峰教育長

朝日中学校の改修は、将来を展望した時に使用しなくなる事態を避けなければならないため、少しでも早く、何とか実行計画期間に実施したいと考えている。

教育大綱案については、総合教育会議を開催した際に説明したが、他の自治体では基本的に4～5年ごとに見直したり、総合計画などと合わせて見直したりしているようである。最終的には市長が決めるものだが、今日は大綱の一部をご提示している。本来は、本年4月から改訂する予定であったが、改めて整理したうえで検討し、相談させていただきたいと考えている。

○坂本課長

総合計画と同じ期間で「スポーツ推進計画」を策定している。今年は中間年にあたるため改訂を予定している。3月15日にはスポーツ推進審議会を開催し、計画内容について協議を行い、次回の教育委員会会議において最終確認したいと考えている。

○山田委員

士別市として「合宿の聖地」をめざしていくのであれば、SNS などによる発信も良いが、市長や教育長が上京して培ってきた人脈をもっと活用すべきではないか。以前からのつながりがあってこそだが、合宿の誘致活動に力を入れてはどうか。

○中峰教育長

クイーンズ駅伝やニューイヤー駅伝などに職員を派遣しているが、現地で直接お会いすると企業や大学側の受けとめ方が違うと感じる。「来てくれた」ということが伝わっているだけでなく、応援やサポートに来ている役員や関係者とお会いすることも大きなメリットである。合宿の里士別推進協議会や旅館業組合などにも参加いただいている。

○山田委員

SNS は万能ではない。直接的な接触や人脈を大切にすべき。

○中峰教育長

道の駅で実施したチーム紹介なども市民に関心を持ってもらうきっかけになったようである。「ステップアッププラン」については、終了扱いとしたが、単に終わりではなくレガシーとしてつないでいくことが必要と考えている。

○馬場職務代理者

単に削除すると、様々な取組をやめてしまうと思われるのでは。

○中峰教育長

計画としては終了扱いとするが、必要な取組は継続していく考え。ホストタウンや日台親善などは、形を変えて引き続き取り組むことが望ましいと考えている。

○中峰教育長

最後の議案は秘密会となるため、先にその他の内容について説明を。

2 その他について

◇令和4年第1回定例会大綱質疑について

別紙資料にもとづき、質問内容と答弁方針について説明。

◇当面する今後の日程について

三上部長から説明。

○須藤課長

士別小の武石教諭が道の教育実践表彰を受賞することになった。また、上川管内の実践表彰を日向神代神楽愛好会が受賞し、いずれも3月7日に授章式が実施される。

○武山課長

日向神代神楽は、保存会会員の減少による危機の中、愛好会として形を変えつつ、多寄中学校の閉校式で舞の披露につなぐなどによって、新たに中学生が会に加わることとなった。

○中峰教育長

新型コロナウイルス感染症に関わって、11歳以下のワクチン接種については、あくまで任意だが、接種したしないで誹謗中傷されることがないように学校等に指導、伝達する。本市では、多くの市民の皆さんの理解と対応のおかげで比較的落ち着いた状況で推移している。

新年度に向けて、教育委員会関連の会計年度任用職員の募集公告を出したところである。ご紹介いただける方がいればお知らせ願いたい。道の雇用にはなるが、学習指導員やスクールサポートスタッフなども探している。

○中峰教育長

「議案第38号 令和4年度士別市学校教職員の人事異動」については、秘密会とする。

午後3時03分 秘密会を宣する。

午後3時15分 秘密会を解く。

午後3時18分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰寿彰

会議録調整者 須藤友章